

広島駅前手押しポンプのその後

駅前に残るポンプ群のうち、Bブロックの歩道にある3基について、持ち主は名乗り出よ、出ない場合は撤去!の非情な告知にハラハラしていました。

まず、津田式1基は平和記念資料館が引き取る、との報道が。この時点では残り2基は処分の可能性もあったような雰囲気。自分が引き取ろうかとも考えましたが、手を上げた誰も権利があるとも思えませんし、公告には、撤去費用を請求…の文字も。

9月10日(2013年)のまでに撤去されない場合は、市において撤去、と書いてあったのですが、この日を過ぎても誰も名乗り出ず。ポンプもそのまま。撤去時期は明示していないので、しばらくそのままだろうか?遅い秋が来ても路上に長い影を落とし、何度目かの冬を迎えていました。そのまま年越し。

年明け早々、新聞に、平和記念資料館が1基引き取り済み、の記事が。そこには資料館前で撮った「駅前にあった津田式」の写真。どうやら現場からは全てのポンプを撤去の様子。日時が分かっていたら見学に行ったんですが。残り2基のうち、津田式1基は現場に再設置予定、川本式は、



▲撤去前 ▲撤去後

引き取り手募集!一瞬、挙手致します!と思いましたが、公開、活用を前提、の但し書きが。それなりの規模の施設でないとダメということのようで、手を引っ込めました。いくつかの施設が引き取りを検討しているようです。

前号の「らっくレポート」にて広島駅前に残る手押しポンプの不思議についてレポートしました。今回は、ポンプのその後の行方についてです。



▲撤去前 ▲撤去後

早いもの勝ちではないようなので慌てても仕方ないし、私の立場では推移を見守るしかないのですが、どこかに譲渡するとして、どのような方法で行うかはこれから検討する、とのこと。とにかく、鉄くずにならずに済んだようで一安心。

現場に行ってみると、ポンプのあった場所は真新しい舗装で塗り固められ、塩ビパイプが1本埋めてありました。抜歯のようで痛々しい。これじゃ絵になりません。ポンプは別の場所で保管してあるそうです。皆さんご安心を。

どうしてもこのあたりでポンプを見たいという方は反対側の歩道に行くと、津田式2基、川本式1基がまだ残っています。中には割れて中が丸見えのカットモデルのようになったものも。

津田式1基は再開発終了後、再設置の予定とのことで、現状で実用には耐えないのでオブジェとしての役割でしょうが、再び路上に長い影を落とすのを待ちましょう。



現在でも残っている手押しポンプ

レポーター 市民パブリシスト 飯田真三

らっくコラム

Rashikku column

プラチナ世代のまちづくりへの参加 ～豊かな人間関係の生活を目指して～

皆さんは、近隣の人たちとどれくらい親しく生活しているのだろうか?私たちの暮らしは、高度成長期以降、過密過疎の進展や雇用労働者の増加の影響を受け、家族・近隣で共同して行ってきたことを社会的な制度やサービスなど公的な仕組みでまかなうように長い時間を経て変わってきた。その結果、地域での共同作業なしに人は生きられるようになり、同じコミュニティに住む人たちの住民組織である自治会、女性会、老人クラブなどの加入率が減少し、地元コミュニティのお祭りやひとり暮らし高齢者の見守り活動などまちぐるみで取り組む必要のある活動のためには不可欠であるにもかかわらず、解散の危機に瀕するところまでできている。

しかし、だからといって人々の孤立が一様に進展しているというわけではなさそうだ。私たちの生活環境が、居住するコミュニティに限定された人々のつながりに「関わりざるを得ない」ことから解放され、ボランティアや趣味の活動など気の合う仲間との継続的な交流のつながりに、より自由に選択できるようになってきた。

ところで、小説「ドーン」などで有名な作家の平野啓一郎氏が「分人」という考えを提唱しているのをご存じだろうか。人は個人のなかに多様なキャラクターを持っており、それを家庭、職場、友人関係など様々な他人との関係性に応じて使い分け「分人」として暮らしているという。私たちは、住んでいるコミュニティの人々との関わり以外にもたくさんの人々と形成するコミュニティの一員として生きなければならない。その関わりのおかげで、色々な自分の顔を同時に持って暮らしているというのだ。そして、この

「分人」として生きている私たちが様々な顔でコミュニティに複数参加することで、多様で豊かなコミュニティの有機的つながりを形成していくのである。つまり、私たちが地元だけ、会社だけという単一のコミュニティだけに固執することなく、複数のコミュニティの一員としていろいろな顔を持ち暮らすことが社会全体のコミュニティの豊かな連結に貢献していくのである。私たちのささやかな自発的な地域活動が、案外これからの地域を支えていく屋台骨になるのかもしれない。

最後にコミュニティの活動に参加するときに意識していきたいことを2つあげておく。ひとつは、コミュニティ活動へは必ず自発的に参加することである。参加のきっかけは人に誘われた場合など様々でも、社会貢献や自己実現など自分が地域活動をやりたくてやらなければ面白くもなければ継続もしない。もうひとつは、できるだけ早くから地域活動に取り組むことである。たとえ休日の数時間だけでもフルタイムで働いているときから地域活動をする、果ては広く人々のつながりに発展することであろう。

プラチナ世代の皆さんの活発な地域活動が、広島市の将来をきっと豊かにすることであろう。



Profile

県立広島大学 保健福祉学部 人間福祉学科
講師 手島 洋

ようこそ! 公民館へ

南区内公民館

地域のみなさんの学習活動を応援する最も身近な施設「公民館」で活動しているグループをご紹介します。今号は、南区内公民館で活動しているみなさんです。

①「保陶芸サークル」(仁保公民館)



私たちは、昭和60年に発足、毎週土曜日の午前9時～正午に活動しています。発足当時は、「楽焼で茶碗等の創作を行っていたそうです。現在は、灯油焼成窯で成形↓素焼↓釉付け↓本焼の工程で、陶芸の技術習得に励んでいます。粘土から形にする成形が、番楽しく、また想像した色合いより想いもかけぬ出来栄えがあったり、窯出しの時はとてもワクワクしています。11月の公民館まつりが近づく作品づくりが活発になります。地域の子どもを対象に陶芸教室を開き大変喜ばれ、また公民館のロビーでは作品展示を行いました。現在、講師の指導を受けながら、自分の作りたい作品をたくさん焼いて、楽しく励んでいます。

②日本舞踊すずの会(青崎公民館)

私たちは、毎週土曜日の午前9時半～午後零時半に活動しています。10年前に公民館が企画した「子どもたちと浴衣を着て踊りましょう」に

③段原ドレミファ(段原公民館)



女の子8人(小学2～5年生)が集まり、うち5人が練習の成果を公民館まつりで披露し、2曲踊りました。それ以降、50代～80代の8人と男の子も入会してみんな楽しく踊っています。年に2～3回の老人ホームへの慰問では、子どもたちの踊りをとて喜んでいただいています。また、女性会、老人会ではカラオケに合わせて踊っています。秋の「公民館ふれあいフェスティバル」、2月の南区内文化センターでの「さなみフェスティバル」の出演に向けてみんな頑張っています。

④絵本の会ひまわり(大河公民館)



平成22年、公民館の講座「絵本の中の女性たち」をきっかけに生まれました。何気ない日常のふとした幸せを見つめるように、一冊の絵本の中から生きることに励ましを感じ、ささやかな喜びを分かち合いたく、毎月1回、第2木曜日の午前10時から正午まで活動しています。ラジオやテレビ番組のナレーションでおなじみの三浦ひろみさんが、独特の感性で絵本を紹介してくださいます。年齢層は40代～80代と幅広く、時には、絵本の中の料理作りに挑戦するなど好奇心も行動力も旺盛な会員たち。それぞれの豊富な人生経験や生きる姿勢に元気をもらうこともしばしばです。シンプルだからこそ伝える力がぎゅつと詰まっている絵本。その魅力に、触れてみませんか?

⑤ストレッチクラブ(楠那公民館)



私たちは、毎週金曜日の午後1時～3時に活動しています。グループ結成から10年以上の年月が経ち、50

⑥宇品もみぢの会(宇品公民館)



毎週水曜日の午後6時半～9時半に和室で小倉百人一首を用いた競技かるたの練習をしています。競技かるたは、近年は漫画「ちはやふる」でもおなじみですが、毎年1月に近江神宮で行われる名人戦、クイーン戦を見かける機会もあるかと思えます。「畳の上の格闘技」とも呼ばれるほど激しく札際のスピードを競う、スポーツ的な要素も強い競技ですが、対戦相手との送り札、出札の読み合いなど独特な心理戦の面白さもあり、老若男女に広く親しまれています。試合形式の練習の他、札を速く取るための素振りや試合後の感想戦(反省会)も行っ



グループへのお問合せについては、各公民館へお願いします。

- ①仁保公民館 ☎082-281-1831
- ②青崎公民館 ☎082-281-3802
- ③段原公民館 ☎082-281-3792
- ④大河公民館 ☎082-254-6731
- ⑤楠那公民館 ☎082-255-2187
- ⑥宇品公民館 ☎082-253-2529
- ⑦似島公民館 ☎082-259-1100



⑦似島体協ソフトバレー部(似島公民館)

私たちは、週1回似島公民館で活動しています。ソフトバレーは生涯を通じて楽しむことができる競技です。1チーム4人の競技者がバドミントンコートを利用し、柔らかいボールを使うので衝撃も少なく、初心者でも気軽に楽しめるスポーツです。子どもから高齢者まで幅広い年齢層の方々がプレーしています。現在部員は7人で大会に向けて練習に励んでいます。私たちは市のリーグに登録しており、現時点では女性フリーの部で6位と頑張っています。公式試合だけでなく、いろいろなチームと練習試合をし、交流の輪が広がっています。これからも楽しみながら1位を目指して頑張っていきたいと思っています。

ています。上級者も初心者もいます。興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

マルチメディアスタジオ・調整室

200インチのスクリーンと112人の階段席を備え、主に映像を使った発表や講演会・上映会などに利用することができる映像スタジオです。階段席を収納し、机・椅子を並べると60人の研修を行う部屋としても利用ができます。

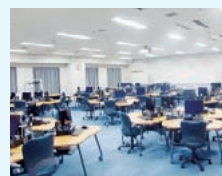


研修室A・B・C

各室定員60人のマイク設備のある部屋です。人数に応じて、2室、3室続きで利用できます。



研修室B



マルチメディア実習室

パソコンを40台備えた部屋です。パソコンを活用した学習ができます。

ギャラリーA・B

生涯学習や市民活動の成果の発表や展示に利用できます。また、多目的に利用できるよう長机や椅子、移動式パーテーション、スポットライトなどの備品を備えています。



実際の展示の様子

ラウンジ (キッズスペース)

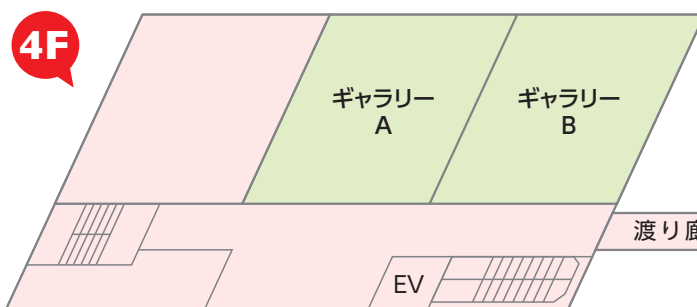
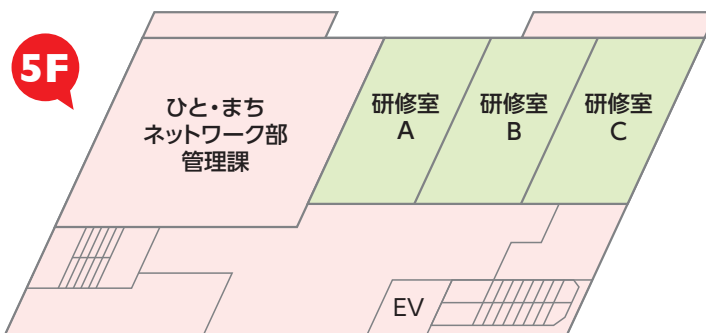
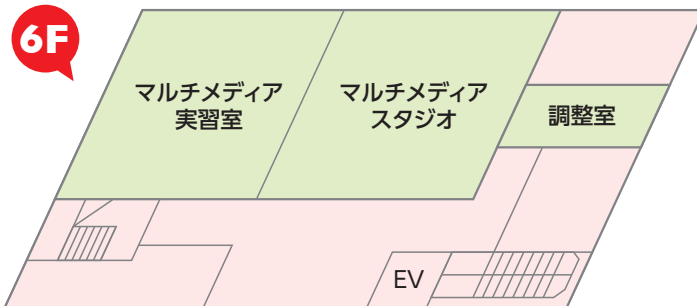
お子様連れの方のための託児スペースです。貸室でイベント等を実施される際に利用の他、おむつ替えや授乳もできます。ただし、お子様だけの利用、予約や占有利用はできません。



ご利用についての詳細は
まちづくり市民交流プラザ
TEL (082) 545-3911
までご相談ください。

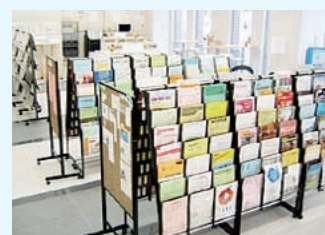
※有料施設・設備については、消費税率の変更に伴い、4月1日より利用料金を改定します。詳しくはホームページでご確認ください。

北棟



エントランスロビー

案内・相談カウンター、情報検索用パソコン、情報資料コーナー、展示コーナーがあります。情報検索用パソコンでは「ひろしま情報a-ネット」など生涯学習に関する情報を閲覧することができます。情報資料コーナーでは、生涯学習やボランティア・市民活動に関するちらしなどを配架しています。



展示コーナーは、生涯学習や市民活動に関する各種団体の展示発表の場として無料提供しています。(要申込)

●フリースポット

フリースポットとは、無線LANでインターネットにアクセスできる場所やサービスの名前です。南棟1階ロビーで無線LAN (Wi-Fi) を搭載したお持ちの携帯電話、ノートパソコン等から無料でインターネットに接続することができます。生涯学習やボランティア・市民活動に関する情報の検索にご利用いただけます。



まちづくり市民交流プラザのご案内



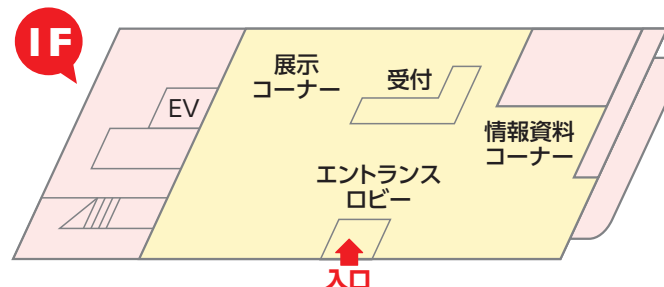
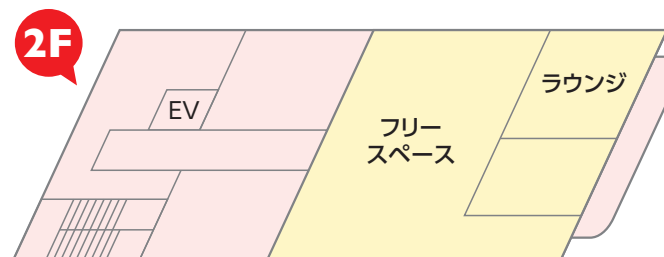
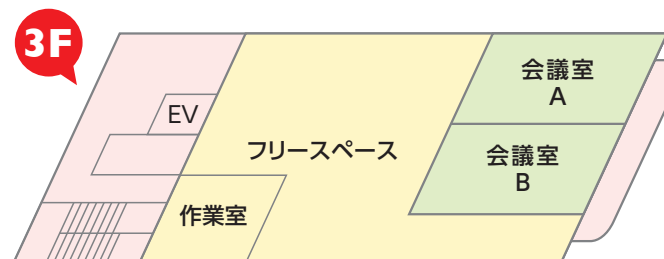
まちづくり市民交流プラザは、生涯学習やボランティア・市民活動を支援し、まちづくりと市民交流を進める拠点施設として、平成14年5月に開館しました。

プラザには、生涯学習やボランティア・市民活動を目的とした個人・グループが利用できる無料施設と使用申請が必要な有料施設とがあります。

フロア案内図

- 予約が不要な無料施設
- 予約が必要な有料施設

南棟



事務室

有料施設の予約や受付を行うほか、生涯学習やボランティア・市民活動に関する相談に応じます。

会議室A・B・C

定員15～18人の少人数の会議や勉強会に適した部屋です。



会議室A

フリースペース (3階受付で利用手続きが必要)

生涯学習やボランティア・市民活動グループのミーティングなどに利用できます。資料作成に利用できるパソコンやホワイトボードなども備えてあります。(ただし金銭の授受が伴うような活動や営利・政治・宗教に関する活動など内容によっては利用できない場合があります。)



3階フリースペース

3階フリースペースの一角には作業室があり、グループ活動の会報や資料等の印刷(有料)などができます。

●ロッカー・メールボックス

ボランティア・市民活動団体を応援するため、会報や資料づくりに必要な印刷用紙などを保管できるロッカー(有料)や団体宛ての手紙を受信できるメールボックス(無料)を貸し出しています。利用申込には所定の申込用紙と団体の活動内容が分かる資料の提出が必要です。対象団体など詳細はお問合せください。



ロッカー



メールボックス

●作業室

作業室には、フルカラー印刷機、軽印刷機、コピー機、ポスタープリンター、裁断機、紙折機などの機器を備えています(一部実費が必要)。生涯学習やボランティア・市民活動の資料、冊子づくりなどにご利用ください。営利・政治・宗教に関する利用はできません。



情報の森

生涯学習

シティカレッジ

大学などが持つ優れた研究・教育機能を市民に活かすことを目的に、学習機会を提供します。

会場 まちづくり市民交流プラザ

申込方法 (1)電話、ファクス、来所により、①希望講座名または大学名②氏名(ふりがな)③住所④連絡先(電話番号、ファクス番号)。先着順により定員になり次第締め切りです。※各講座とも全回参加が前提です。※郵送(はがき等)による受付は行っておりません。

(2)受付時間：月～金(祝日を除く)午前8時半から午後5時15分まで。(来所の場合は午前9時半から)。土曜日・日曜日・祝日は閉所していません。

(3)申込開始日が講座によって異なります。申込開始日まではお受けできませんので、下記の表をご確認ください。

大 学	安田女子大学	広島女学院大学	広島文教女子大学	比治山大学	広島国際学院大学
講座名	日本語の多様性	いま、ヨーロッパをみるー日本からー	超高齢化社会について考える	古典に歴史を読む	労働社会の変容ー「仕事」の社会学ー
日 時	5/31・6/7・6/14 6/21・6/28 土曜(全5回) 10:00～12:00	6/5・6/12・6/19 6/26・7/3 木曜(全5回) 18:00～19:30	9/13・9/20 9/27・10/4 土曜(全4回) 10:00～11:30	9/13・9/20・9/27 10/4・10/11 土曜(全5回) 14:00～15:30	9/20・9/27・10/4 10/11・10/18 土曜(全5回) 10:30～12:00
対象員	高校生、大学生 社会人 60人	大学生、社会人 50人	社会人 60人	社会人 100人	高校生、大学生 社会人 50人
受講料	無料	無料	無料	無料	無料
申 込	4月15日から	4月15日から	8月1日から	8月1日から	8月1日から

イベント

三滝少年自然の家からのお知らせ

①第1回三滝自然ファミリールランド
野鳥、昆虫、植物、星座など三滝の魅力ある自然を活動に活かし、野外での遊びや観察などを通して、自然に親しみます。また、体験活動を通して個々の家族の絆を深め、他家族と交流することが出来ます。



日時 5月17日(土)～18日(日)
内容 キャンプファイア、野外炊飯など
定員 16家族
対象 小学生以上の子どもとその保護者
※保険料・食費・薪代・資料代などの参加費が必要となります。
申込方法 事業名、郵便番号、住所、電話番号、家族全員の名前とふ

りがな、性別、児童生徒は学年を記入し、82円切手を貼った返信用封筒(長形3号で宛名を記入)を同封して下記申込先まで郵送してください。
申込受付期間 4月1日(火)～4月15日(火)【必着】
②第1回三滝自然ワンダーランド
野鳥、植物、星空など三滝のもつ自然の魅力を活動に活かし、日頃できないような自然体験活動を行い、思い出づくりをしながら絆を深めましょう！

日時 6月28日(土)～29日(日)
内容 自然観察、クラフトなど
定員 42人
対象 小学校4年生～6年生
※保険料・食費・薪代・資料代などの参加費が必要となります。
申込方法 事業名、名前、ふりがな、性別、郵便番号、住所、電話番号、学校名、学年、保護者名を記入し、82円切手を貼った返信用封筒(長形3号で人数分宛名を記入)を同封して下記申込先まで郵送してください。

申込受付期間 5月1日(木)～5月15日(木)【必着】
※①②共通項目
開催場所 広島市三滝少年自然の家
申込・問合せ 広島市三滝少年自然の家
〒733-0802 広島市西区三滝本町丁目73番地の20
☎082-2338-6301
☎082-2338-6302

ひと・まち広島未来づくりファンドHm(ふむふむ)
第11回助成団体最終活動発表会&第12回助成応募団体公開審査会

市民のみなさんの自主的なまちづくり活動を助成する基金Hm(ふむふむ)。広島未来をつくる魅力あふれる活動の成果発表やこれから新たに取組もうとしている提案事業の審査を行います。



日時 5月10日(土)
最終活動発表会：午前10時～正午
公開審査会：午後1時～5時半
場所 まちづくり市民交流プラザ北棟4階ギャラリー
問合せ (財)広島市未来都市創造財団ひと・まちネットワーク部管理課事業係
☎082-541-5335
※(財)広島市未来都市創造財団は4月1日より公益財団法人広島市文化財団に名称を変更します。

図解でやさしく学ぶ お金の教室1日体験授業

保険・ローン・貯蓄・資産運用などの金融のしくみと家計改善の基礎を学んでいくマネースクールの体験授業です。実際の授業の一部を体験できます。実生活に役立つノウハウの詰まった内容を体験できますので、

を記入のうえ、

- ①5月1日(木)
- ②5月8日(木)
- ③④⑤5月27日(火)
- ⑥6月19日(木)

までに必着で、まちづくり市民交流プラザへお申込みください。①④⑤の講座は、託児サービスがあります。託児(1歳半以上の未就学児)を希望の場合は子どもの年齢を記入ください。

パソコンサロン

初めてパソコンに触れる方や基本的なパソコン操作に自信のない方を対象にパソコンを無料開放します。会場にはボランティアがいますので、気軽にどうぞねください。

日時 原則、偶数月の日曜日「4月～8月の日程」4月6日、13日、20日、27日、6月1日、8日、15日、22日、8月3日、17日、24日、31日
午後1時半～4時半

参加費 無料
申込み 不要

※パソコンの開放台数は20台
※パソコンの持込みはご遠慮ください。

「プラザ主催事業のご案内」に関する お問合せは...

まちづくり市民交流プラザ
〒730-0036
広島市中区袋町6番36号
☎082-545-3911
☎082-545-3838

お知らせ

「まちづくり支援センター」をご利用ください。

広島市では、地域の皆さんの主体的なまちづくり活動を支援するため、各区役所の地域起こし推進課内に「まちづくり支援センター」を設置し、まちづくり活動をしたいと考えている方に次のような支援を行っています。どうぞお気軽にご相談ください。

支援内容

- ①窓口等においてまちづくりに関する相談への対応やまちづくり関連情報の提供
- ②まちづくり活動の事例紹介や知識の習得などを目的としたまちづくり人材育成講座等の開催

プラザ 主催事業の ご案内

楽しい(タノシビト)のための あそびCafe

みなさん、素敵な余暇を過ごしていますか?「あそびCafe」では毎

月第3土曜日に気軽に喫茶を飲みながら相談員のみなさんによる余暇を楽しむための話と余暇についての個別相談や「余暇診断シート」を使ったアドバイスを受けることができます。ぜひお気軽にお越しください。
日時 4月19日(土)、5月17日(土)、6月21日(土)、7月19日(土)
いずれも午後2時～3時半
※受付開始は午後1時半
場所 まちづくり市民交流プラザ南棟1階ロビー
相談員 広島県余暇プランナー協会会員

パソコン講座

①エクセルでつくる医療費管理表
日時 5月11日(日)～5月25日(日)「毎週日曜日全3回」
午後1時半～3時半
受講料 3,600円(テキスト代込)
対象 エクセルの基本操作ができる方

②Ji m d oでホームページ作成講座
日時 5月16日(金)～6月6日(金)「毎週金曜日全4回」
午後7時～9時

受講料 4,500円(テキスト代込)
対象 メールアドレスを持っていて送受信ができ、インターネットの閲覧操作ができる方

③エクセル2010基礎講座
日時 6月5日(木)～7月24日(木)「毎週木曜日全8回」

午後7時～9時
受講料 1,0160円(テキスト代込)
対象 文字入力、パソコンの基本操作ができる方
④ワード2010応用講座
日時 6月7日(土)～7月26日(土)「毎週土曜日全8回」
午前10時半～午後零時半
受講料 1,0052円(テキスト代込)
対象 ワードの基礎を理解できている方

⑤エクセル2010応用講座
日時 6月7日(土)～7月26日(土)「毎週土曜日全8回」
午後1時半～3時半
受講料 1,0052円(テキスト代込)
対象 エクセルの基礎を理解できている方

⑥無料ソフトで写真を加工してみませんか、少しだけプロの技に挑戦!
日時 6月27日(金)～7月18日(金)「毎週金曜日全4回」
午後7時～9時

受講料 4,500円(テキスト代込)
対象 パソコンの基本操作ができる方
※①②③④⑤⑥共通項目

定員 38人
申込方法 往復はがき(104・4月1日以降またはファクスで講座名・住所・氏名(ふりがな)・電話番号(ファクスでお申込みの方はファクス番号)



「新しい自分に……ホップ・ステップ・ジャンプ」プレゼン講座を開催しました。

11月15日、22日、12月6日、13日の全4回、まちづくり市民交流プラザのマルチメディアスタジオにおいてプレゼン講座を開催しました。この講座は自分の「想い」を伝え、活動の輪を広げるための手法のひとつである「プレゼンテーション」について、日常の中で実践できるようなポイントを学ぶことで、プレゼンテーション力を養うことを目的として開催したものです。講座では、コミュニケーションや自己認識、表現力について、講義やワークショップを通じて楽しく学ぶことができました。講座の修了生からは「1回1回が新鮮でいろんなプレゼンテー



▲プレゼン講座の様子

ションの仕方を学びました」「自分の想いを伝えたり、人の話を聞くことを今まで以上にやっていきたい」「ボランティア活動に役立てたい」などの声をいただきました。講座で学んだ知識が今後の活動の発展につながることを願っています。

企業等社会貢献活動研究会 活動報告

「ひろしま男子駅伝」にて清掃活動を行いました！

1月19日(日)、地元の声援を背にアスリートたちが広島街を走り抜ける「ひろしま男子駅伝」が開催されました。

企業等社会貢献活動研究会(広島市内に本社または支店・支店を置き、社会貢献活動に取り組み企業・団体による研究会)では、毎年この男子駅伝を応援し、沿道の環境美化にも役立とうと「ひろしま男子駅伝応援・清掃ボランティア活動」を実施しています。今回も沿道の2か所

(NHK前、ホテル東急ビズフォート前)に清掃用具の貸し出しとごみステーション



を設置し、清掃活動を行いました。正午から活動を開始。研究会の参加企業・団体の関係者やその家族

の方々がごみステーションを訪れ、清掃用具とごみを入れる袋を受け取り、駅伝スタート地点の平和公園へと向かって行きました。

午後零時半に駅伝がスタートしたところから、回収されたごみが持ち込まれ、ごみ袋が次々に一杯になっていきました。駅伝の選手たちがNHK前を通過する際は、ごみステーションのスタッフも含めて沿道に出て応援し、駅伝がゴールした午後3時には、清掃活動を無事に終えることができました。

この活動で収集したごみは、可燃・不燃、ペットボトル、カン・ビンなど合わせて40袋になり、ごみステーションを利用して参加された方の総計は582名にもなりました。

研究会では今後も市民の皆さんに還元していくための様々な社会貢献活動を行っていきます。



▲ごみステーション

募集しています！

「らしく『情報の森』」に載せてほしい！という、イベントや募集記事を募集しています。次号は、「7月下旬発行予定」です。8月以降の情報をお待ちしています。下記、広島市まちづくり市民交流プラザまでお送りください。

広島市まちづくり市民交流プラザ

●開館時間
午前9時30分～午後10時

●休館日
毎月第3月曜日、12月29日～1月3日

●交通アクセス
市内電車：「袋町」電停から徒歩約3分
バス：「袋町」バス停(広島電鉄・広島バス)から徒歩約3分
アストラムライン：「本通駅」から徒歩約6分

※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。ただし、車いす使用者等にご利用いただく駐車場は3台分用意しています。

※自転車・バイクの方は、地下の公共駐車場(有料)をご利用ください。

●ホームページ
<http://www.cf.city.hiroshima.jp/m-plaza/>

●ひろしま情報a-ネット
<http://www.a-net.shimin.city.hiroshima.jp/>
※メールマガジンの登録もできます。

●E-mail
m-plaza@cf.city.hiroshima.jp

〒730-0036 広島市中区袋町6-36
TEL：082(545)3911(代表)
TEL：082(545)3913(施設予約受付専用)
FAX：082(545)3838

